

我が家で一か月やってみた！

- 期間 7月初旬～8月初旬までの一か月間
- ごみの種類によって開始日、終了日が異なるが1か月間とする。
- ごみ・資源の容器は右図。
- ほかに新聞、段ボールは梱包。
- 生ごみは台所シンクの三角コーナーで随時、庭のコンポスタ(町の補助も使って購入)に投入。



可燃ごみ 1か月(7/9~8/8) 4,441g

月 日	重量	種 類
7/9~29	680	生活ごみ
7/18	3,000	片づけゴミ
8/15	410	生活ごみ
8/15	1,210	肥料の袋16枚、 ppバンド含む
7/9~8/18計: g	5,300	
7/9~8/8 (31日分)換 算	4,441	生活ごみ



生ごみ 1か月(7/14~8/14) 計13,340g

月 日	生ごみ	種類	月 日	生ごみ	種類	月 日	生ごみ	種類
7 / 14 ~16	400		26日	450		8日	1260	
17日	300		29日	750		9日	870	
18日	1450	スイカ	31日	650	魚の頭	10日	1080	
20日	480		8/2	700	コ ー ヒ ー 滓 も	11日	570	
22日	400		4日	500		11日	1260	
24日	570		6日	620		14日	1030	

8/8~14日はトウモロコシやスイカを食べたので多くなった。

プラスチック容器包装 1か月で2,055g

月 日	重量
7/8~15	300
22日	700
29日	530
8/5	410
7日	115
1か月 計	2,055g



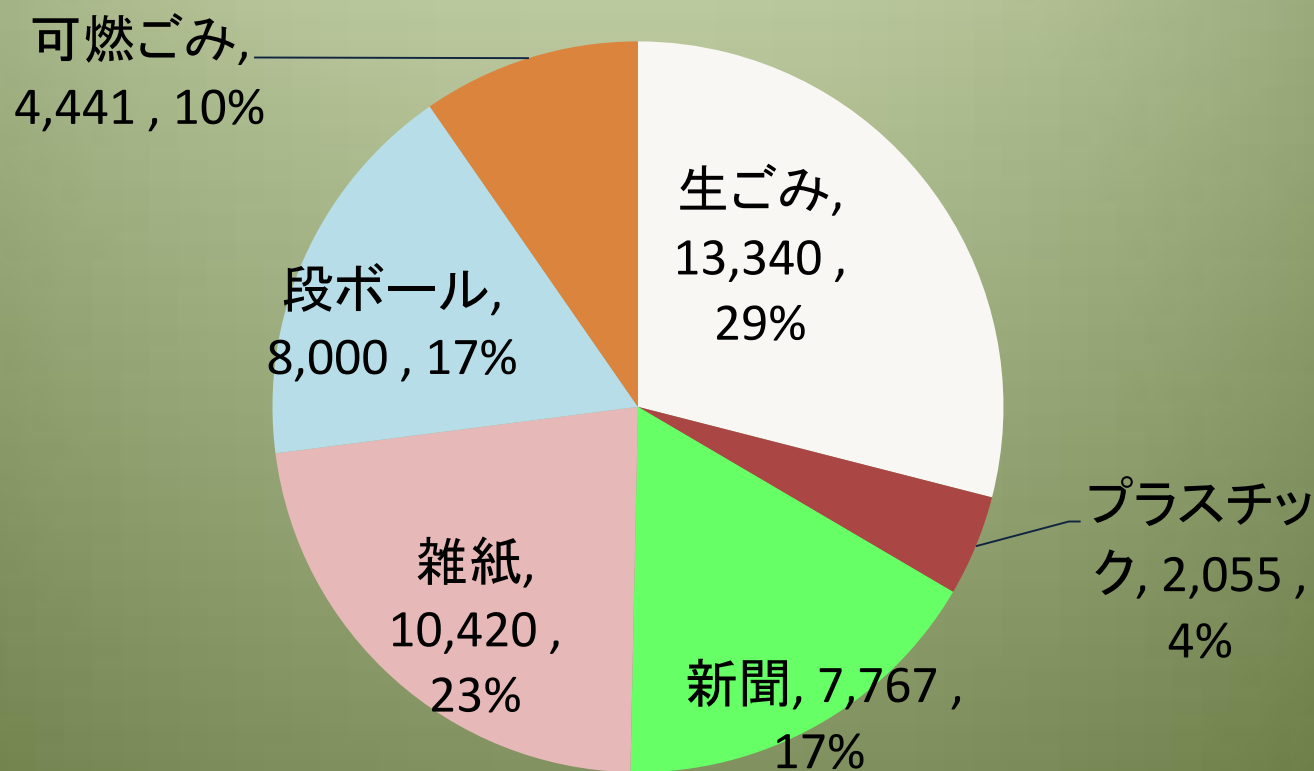
プラスチックはちょっと小さいが新聞を包んでくるプラスチックの袋を再使用している。
収集する人が一度でつかめるように袋同士を縛って出している。

資源 1か月で新聞7,767g、雑紙 13,140g、段ボール8,000g

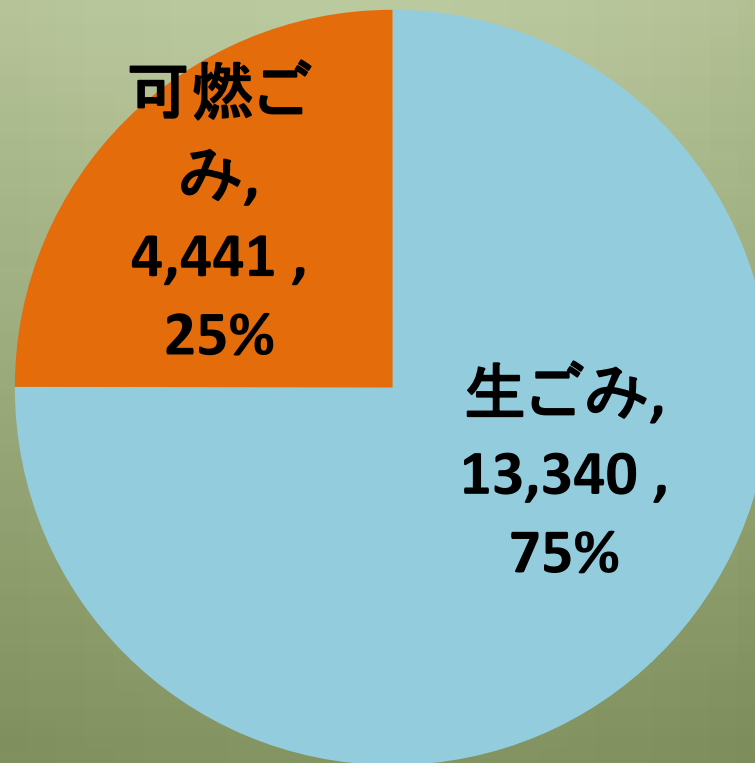
新聞		雑紙		段ボール	
月日	重量	月日	重量	月日	重量
7/9~23	3800	7/9~23	4900	7/28	800
		8/1	2800	16日	7200
~8/8	3967	8/8	2720		
月計	7,767g	月計	10,420g	月計	8,000g



1か月の主な家庭ごみの組成分析 (高齢者2人世帯 月計46,022 g)



1か月の主な家庭の可燃ごみの組成分析 (高齢者2人世帯 月計17,781g)



我が家の一か月の主な家庭ごみ

- 可燃ごみの量は1か月で4,441gなので、
一人1日当たりになると
$$4,441\text{g} \div 2\text{人} \div 31\text{日} = 71.6\text{g/人}$$
- 一人1日当たりで、71.6g となります。

杉戸町の家庭の可燃ごみ量

環境省 一般廃棄物処理実態調査によると

- 令和1年度の杉戸町の年間可燃ごみ量は9,665tで、うち、生活系の可燃ごみは 7,581t/年です。
- 一方、上記の調査に掲載された、2019年の杉戸町の人口は 44,853人
- 従って、杉戸町の生活系可燃ごみの1人1日当たりの量は、 $7,581\text{t} \div 44,853\text{人} \div 365\text{日} = 463\text{g}$ となります。

これは、我が家の可燃ごみの6.5倍です

分別を徹底すると 焼却ごみは34%に減量できる

- もしも、我が家並みに生活系可燃ごみを減らすことができたなら、
杉戸町の生活系可燃ごみは $71.6\text{g} \times 365\text{日} \times 44853\text{人} = 1,172\text{t/年}$ となります。
- 事業系可燃ごみが2,084tのままだとしても、合わせて3,256t/年であり、現在の約34%に減らすことができます。焼却炉の規模や運転時間を節約することができ、それは経費の節約にもなります。
- 事業系の分別の徹底も見直す必要が出てきます。それには、ここでやったように組成分析を行うことから始まります。

我が家が努力していること 1

- 最も大きいのは、生ごみをコンポスタ処理しているということ
 - 生ごみは可燃ごみの4割を占めています(杉戸町はコンポスター購入への補助制度があります。容器等の購入額(消費税相当分は除く)の3分の2とし、1基につき20,000円を限度)
- 名刺の大きさ以上の雑紙は、雑紙として分別し、紙バッグにいれて資源ごみに出す

我が家が努力していること 2

- プラスチック容器包装類は徹底してプラスチック容器包装に分別
- アルバムの表紙のように、厚紙に布やプラスチックカバーが貼り付けてあるものは、剥がして厚紙は雑紙に、布などは可燃ごみに分別。しかし、そもそも手間のかかる複合材は作らないでほしい(無理はしない。無理すると続かない)
- 汚れた紙類も汚れた部分のみ切り取って可燃ごみに、残りのきれいな部分は資源・紙類に分別する(無理はしない。無理すると続かない)

参考 可燃ごみの内訳(新潟市)

新潟市の「平成 30 年度ごみ・資源組成調査結果について」より

- 新潟市の調査(右表)
- 生ごみは40%を占める
- 紙・プラスチック分別の可能性は？

燃やすごみ内訳 (%)	H27	H30
生ごみ	39.6	40.3
紙類	23.7	23.4
紙おむつ	6.9	6.3
プラスチック類	14.4	15.2
布類	8.5	8.3
木・竹・わら類	2.5	3.0
ゴム・皮革類	1.9	1.5
その他	2.5	2.0
計	100.0	100.0

表 1 : 燃やすごみの組成割合 (H27-H30)

うち紙類・プラスチック類の内訳

紙類内訳 (%)		H27	H30
資源物	新聞紙	3.6	3.0
	雑誌・雑がみ	9.0	8.7
	段ボール	0.5	0.7
	紙パック	0.5	0.5
	計	13.6	12.9
その他紙類		10.1	10.5
計		23.7	23.4

表2：紙類の内訳 (H27-H30)

プラスチック類内訳 (%)		H27	H30
資源物	ペットボトル	0.3	0.5
	プラマーク 容器包装	10.7	6.1
	計	11.0	6.6
	その他プラスチック	3.4	8.6
計		14.4	15.2

表3：プラスチック類の内訳 (H27-H30)

紙類の約13.25%、プラスチック類の約8.8%は資源物。
合わせて、さらに、22%減量の可能性がある。